

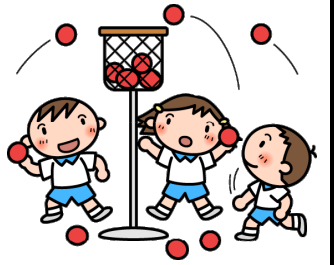
「子どもに優しい社会を」

# 岩切たつや

県議会便り

2017年10月  
発行  
県議 岩切たつや

住所  
宮崎市生目台東  
1丁目6-8  
電話0985-89-5158  
fax 0985-86-8778



国体だけが競技会ではなく、毎年の中・高校生の県大会や、宮崎の観光を支えるプロスポーツキャンプなど木花運動公園の需要は高まっています。安心してスポーツに取り組み環境を整備していくことは当然です。

## 大きな投資が福祉抑制につながってはならない

9年後の国体開催の一步を踏み出しました。施設整備には大きな投資が必要となります。国体以外にも県では2019年に高校総体（宮崎▽熊本▽鹿児島▽沖縄の4県共同開催）、2020年に国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭を開催することが決定しています。いずれも大きな予算が伴いますが、そのしわ寄せが、医療や教育、福祉サービス抑制につながらないよう注視していかなくてはならないと考えます。

**11月議会質問に登壇**

9月議会では登壇の機会はなく、11月議会では一般質問に登壇予定です。

様々な課題を取り上げて、県民福祉の向上に寄与できるように頑張っていきます。

皆さまの県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

## 9年後の国体施設整備 3市に分散整備の方針に様々な意見

2026年に宮崎県で開催される2巡目国民体育大会で利用する県有の主要3施設（陸上競技場、体育館、プール）を3市にそれぞれ分散して整備するという方針が、9月定例議会冒頭の知事所信表明で明らかにされました。

開会式なども行うメイン会場となる陸上競技場は、都城市山口町の総合運動公園一帯に、体育館は延岡市大貫町に、プールは宮崎市錦本町の県グラウンドに整備していくとのこと。

この3施設分散整備方針について、議会で様々な意見が出されました。

利用者（主にアスリート）の満足度向上に繋がるのか、国体開催後の街づくりや、観光振興にどう活かすのか、木花運動公園はどうなっていくのか等、です。

### 整備に365億！

3施設の整備に要する経費は概算で365億円と見積もられています。陸上競技場を木花運動公園再整備で行う場合は津波対策費を含め400億円だそうです。

また、都城市や延岡市が施設整備に当たって応分の負担を示唆したことは、候補地決定の大きな要因になったことは否めません。県の支出だけではなく地元市と共同出資となれば県財政上大変助かることになるでしょう。

宮崎市が特別な支出を提示



## 県立宮崎病院の改築が再出発

県立宮崎病院は、改築後33年が経過し施設の老朽化・狭隘化が進んだとして、検討が重ねられた結果、早急な再整備が不可欠と判断され、「県立宮崎病院再整備基本構想」を策定し昨年度10月には基本設計が終了しました。その際に、検討段階より事業費見込みが大幅に上昇したことに対し、議会の一部が反対したため、今年度当初予算案に関連経費の予算化が見送られてしまいました。

今年6月議会で、事業費、病床数及び収支計画に見直しのほか、計画全体をより中立的に調整して、目的に向かって円滑に事業を運ぶコンストラクション・マネジメント業務を発注し、コストの縮減を図ることで理解を得て、事業は再出発となりました。

すでに新たな立体駐車場建設が発注されるなど作業が進められています。

今年度は実施設計作業が行われ、本体着工は平成31年度、新たな病院の開院は33年度末、そして現建物の解体や外構工事をすすめ、グラウンドオープンが平成35年の春を予定しています。

私は、県民にとってよりよい医療体制を提供してもらえよう病院局の奮闘を要請しています。また、新たな病院には、手術支援ロボット「ダビンチ」など時代の先端を行く医療機械の整備や医師、看護師をはじめとする医療スタッフの充実を求めています。

この五年で医師数は二十五人、看護師は八十人増員が図られているとの報告がありました。



社会民主党県議会議員

## 岩切たつやプロフィール

昭和36年1月 延岡市生まれ  
昭和54年4月 県庁入庁  
児童相談所、福祉事務所等に勤務  
県庁職員組合委員長、延岡市立伊形小PTA会長、宮崎県立延岡工業PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。

現在一period  
家族 妻と子ども  
資格 社会福祉士、宮崎県登録保育士



# 子どもの未来を明るくものに

私の所属する議会内会派「県民連合宮崎」から代表質問に登壇した日南市選出の高橋透議員（社民党・四期目）の質問の一部と答弁を紹介します。

## ☆質問☆

明星視覚支援学校における視覚障害を持つ幼児への対応と幼稚部設置について考えは。

## ★答弁（教育長）★

対象幼児の歩行練習や遊びを通じた体験活動など支援を行っている。今年度、実施回数を増やし、給食を実施して時間延長をするなど充実に努めている。早期教育は大変重要であり、保護者の思いや学校からの要望等については重く受け止めている。幼稚部設置にスピード感を持って検討を進める。

## ■私の意見

生まれながらに視力に障害がある、または幼児期の疾病による後遺症で視力に障害が残った幼児が、地域の保育所や幼稚園では対応できないとして利用できない実態があります。

県内唯一の視覚障害児支援の専門機関である県立明星支援学校では、キラキラ教室という名前で視覚障害を持つ幼児の早期療育の相談に対応しています。でも明星視覚支援学校のホームページや、県庁ホームページで探せませんでした。



制度として確立していないからです。保護者会からお話を伺いました。

「視覚支援学校は九州各県にありませんが、未就学児を対象とする幼稚部の設置がないのは、宮崎県と鹿児島県のみ。全国でも残りたった9県。幼稚部設置は50年も前から要望しているけど実現しない。県内には支援対象幼児が50人を超えて生活している」とのことでした。

見えない、見えにくい中で、触覚や他の感覚を高め活用しているような遊びを組み立てたりする専門的な療育環境の提供が急がれます。また、保護者の孤立化を防ぎレスパイトを提供することが求められています。視覚障害児の支援対応が遅れている現状を知り、憤りを感じています。教育長がスピードアップすると約束しました。継続して求めていきます。

## ☆質問☆

乳児院は宮崎市と都城市に設置されている。県北地域についてはどうか。

## ★答弁（福祉保健部長）★

平成31年度までに県北地域の児童養護施設内に設置する目標を掲げている。可能な限り早期に当該施設の設置を図る必要があると認識しており、職員の育成・配置などが必要となることから、具体的な協議・整備を進めていく。



## ■私の意見

乳児院という施設は出生直後から概ね2歳までの児童を預かって養育する施設です。県内には宮崎市にあるカリタスの園つぼみの寮と、都城市の石井記念仁愛の家の2カ所になりますが、仁愛の家は今年五月に完成したばかりです。

宮崎県が平成27年10月に策定した「家庭的養護推進計画」では、県北に乳児の小規模グループケア（定員五人）を養護施設内に設置することとしています。養護施設内に設置するという方針でしたので、仁愛の家より早いのではと考えていたのですが、まだ設置されていません。職員には乳児支援の技術を体得いただく必要があり、施設全体の職員数も増やす必要があるためとのこと。

生まれたてから、生後数ヶ月の乳児を県北から宮崎市の施設に移送するのは大変な負担をかけてしまいがちです。また、託する保護者も面会が容易ではありません。一時も早い設置が必要です。

## ☆質問☆

高レベル放射性廃棄物の最終処分施設の受け入れの是非について知事の見解は。

## ★答弁（知事）★

現段階で判断すべきでない。巨大地震の発生が懸念される中、不安に感じる方もおられると思う。

## ■私の意見

国が一方的に適地マップを発表



## 〈9月議会の議案〉

- ◆一般会計補正予算 88億3,486万2千円
- ◆串間市選挙区補欠選挙実施に伴う補正予算 2,679万円
- ◆衆議院選挙実施に伴う補正予算 7億5,227万5千円
- ◆宮崎県税条例の一部を改正する条例ほか6件の改正
- ◆人事委員会委員などの任命同意など
- ◆IR実施（カジノ実施）に関する法律に反対の意見書を求める請願など2件の請願審査 ◆平成28年度決算案の認定等

## 〈日常活動スナップ〉



↑消防学校修了式でご挨拶

会派視察↓（新潟市の交通政策）

↑徳重市議と県内調査（県権葉駐在所）

したことは無責任で許されません。国内に56基もの原子力発電所が建設されています。福島県の原子力発電所が地震と津波で破壊され、解体作業が始まっていますが、困難な作業が続いています。また、解体されたとしてもどこに廃棄するのか、がれきや汚染水、本体の様々な金属類、核燃料そのものなど大量の廃棄物が発生します。

同時に稼働期限が到来する発電所がたくさん存在しています。これらがたくさん存在する必要があります。放射線廃棄物が人体に及ぼす影響は現在でも未確定な部分が多くあります。安全基準が政権の都合で二転三転したことも記憶に新しいことです。また、原発再稼働を強行する姿勢の世代で解決させましよう。

一方、原発廃止を主張していて、勢を改めることもありませぬ。信頼できない政府が続いていることが決定までの道のりを困難にしていくと思われませぬ。

放射線廃棄物最終処分施設問題の解決を子ども世代に残さず、私たちの世代で解決させましよう。

